

前例より前進



私は「前例より前進」という言葉を大切にしています。書籍名は忘れてしまったのですが、本を読んでいるときに見つけた言葉です。すべての前例がだめだと言っているのではなく、前例にも素晴らしいものやことがたくさんあります。ただ、前例のままのほうが楽ですし、前例にとらわれて前進で

きない、しない、のは違うと思っています。

コロナ禍以前とは本校の規模も全然違ってしています。ですから、コロナ禍以前に戻さず、いえ、残念ながら戻れない現状があります。新しい生活様式にどんどん変化していっている世の中で、その時代に合ったように前進するべきだと思います。よろしくお願いします。

生きる力

今までの学校だよりで『アナログの大切さ』や『デジタル化への対応』について書いてきました。そして『前進すること』についても書きました。私たち教職員も様々な変化を遂げる世の中に対応しつつ、子供たちが自分自身で判断できる人になれるよう、子供たちの生きる力を育もうと一日一日を大切にしています。

よく『褒めて育てよ』と言われます。しかし、褒めるばかりで子供は育つのでしょうか。「してはいけないことはしてはいけない」「ダメなことはダメ」としっかり指導することの大切さを感じます。もちろん、暴言や暴力で指導することは、それこそ『してはいけないこと』であり、それはもはや指導ではありません。しかし、きちんと指導しなければ、子供たちは知らずに成人していきます。知らずに社会に出ていくことになります。今は学校や家庭で守られていても、いつかは独り立ちしなければなりません。その時のことを視野に入れ、子供たちがきちんと理解できるように指導することが大切です。現在の世の中ではなんでも『ハラスメント』と言われてしまうことがあり、困ってしまうことが現実です。また、保護者の皆様も『モンスターペアレント』と思われるのではないかと、あきらめてしまうことも多いのではないかと思います。どちらも言葉の使い方、受け取り方に課題を感じます。立場は違いますが、子供たちへの思い、願いは同じだと思っています。同じ方向を向いているはずです。お互いにそのことを忘れず、子供たちの未来のために、立場の違う私たちが協力し合い、思いやりの心で子供たちを支え育てることが一番だと思います。



しかし、私たち教職員も人間です。間違っている場合もあると思います。その際は、どうぞお知らせください。私たちに気づかせてください。保護者の皆様も子供たちの声をしっかり聞いて受け止めてあげてください。ただ、子供たちの前で教職員のことをよくないように言うのだけはおやめください。以前にもお伝えしましたように、保護者の皆様の力は子供たちにとって偉大です。学校生活がうまくいっていても、一変してしまいます。さらに、子供たちに理由を追求しすぎると何かを言わなければならないと理由を作って伝えてしまうことも多く、子供たち自身に負い目を感じさせてしまうことにもなりかねません。そうすると、保護者の皆様はもちろんのこと、教職員にとっても、何よりも大切な子供たちにとってよい結果にはなりません。どうか、ご理解いただき、ご協力よろしくお願いします。

校長 籾本みゆき

(10月の主な予定)

日	曜	行 事	日	曜	行 事
2	月	移動図書館	20	金	運動会準備
4	水	いじめなくそうデー 委員会	21	土	運動会
5	木	全校読書 ALT 来校 語りの森	22	日	運動会予備日 有功ふれあいまつり
9	月	スポーツの日	23	月	振替休業
10	火	視力検査 学校司書来校 スクールカウンセラー来校	24	火	スクールカウンセラー来校
11	水	県学習到達度調査(4・5年生) 学校司書来校	25	水	教科等別研修会
12	木	全校読書	26	木	全校読書
13	金	学校司書来校	27	金	森林教室(5年)
16	月	移動図書館	28	土	子どもセンター竹とんぼ教室
18	水	委員会(運動会用)	30	月	学校司書来校 移動図書館
19	木	全校読書	31	火	学校司書来校

(11月の予定) 7日(火)～8日(水) 修学旅行(6年)

11日(土) 参観(ありがとう集会・保護者学級) 13日(月) 振替休業

18日(土) 子どもセンター「バレーボール教室」

図書室がリニューアル！新刊も入りました！（学校HPにも掲載中です）

